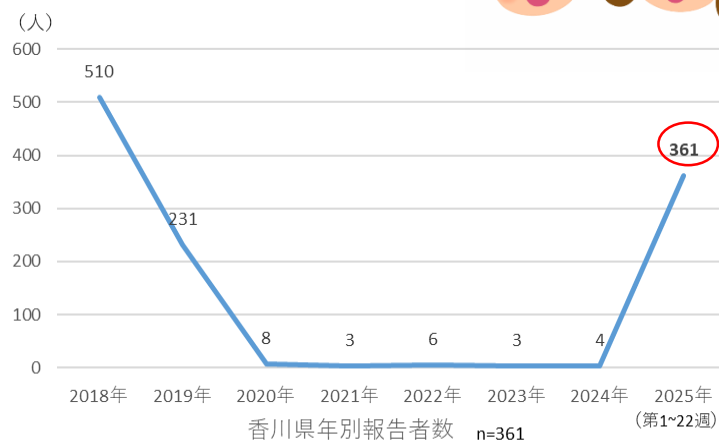
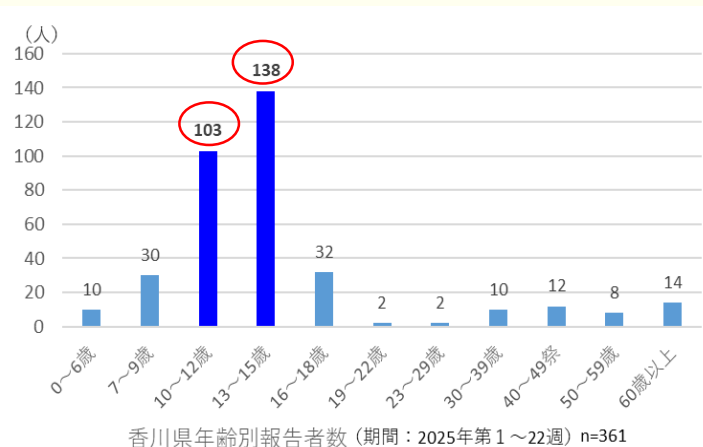
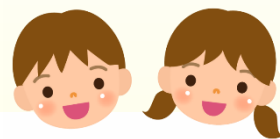


百日せきに注意！

百日せきは鼻水やくしゃみ、菌のついた手で自分の鼻や口をさわることで（接触感染）により感染します。

特に小学生（高学年）、中学生での感染が増えています。



【予防と対策】

○百日せきの予防には、予防接種が有効です。

定期予防接種で百日せきの免疫を得ていても、小学校就学前にワクチン効果が薄まるため、日本小児科学会では任意での3種混合ワクチンの2回追加接種（①小学校に入る前の1年間、②11～12歳）を推奨しています。¹⁾

任意での予防接種は中学生以上の方も可能です。

※3種混合ワクチンについては、現在、急激な需要の増加により販売元からの限定出荷が行われており、供給が不足しております。任意接種を希望される場合は、かかりつけ医療機関のホームページなどで接種状況を御確認のうえ、かかりつけ医に御相談ください。

○マスク着用、手洗いなどの基本的な感染症対策を心がけましょう。

○重症化しやすい予防接種前の新生児や乳児は、主に両親や兄弟など身近な人が感染源になることがあるため、家庭内での感染防止対策が重要です。



『手の洗い方』

百日せきは、学校保健安全法において、学校等で出席停止が必要な感染症です

【登校停止期間の基準】

特有のせきが消失するまで、又は5日間の適正な抗菌薬治療が終了するまで（※ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときはその限りではありません）



咳が続く場合は、医療機関の受診をご検討ください。受診に迷った場合には「香川県小児救急電話相談【#8000】」（ダイヤル回線・IP電話・光電話等の場合は【087-823-1588】）にご相談ください。



香川県内の各地域で流行している感染症の情報はこちらから確認できます！



<発行元：香川県健康福祉部感染症対策課 TEL：087-832-3304> 令和7年6月作成

1) 百日咳ワクチン接種推奨ポスター（日本小児科学会）https://www.jpeds.or.jp/uploads/files/20191002_hyakunichizeki.pdf